

明治八年
大阪
錦傳
新聞
第十九号

並木
みよ子

きりくは東京まで去年のころの
事をいふ。女心の浅州馬道 猿智
恵なくむ猿寺地内。二人りてしハ
寡婦と下女。女主人ハ下女ハ前
主とさせて。他所へ歸りて家と
見ま。燈火消して。下女ハ
柱もろく。箆箆ハあけて。品物も
取り出して有也。やうく女主人ハ繩と解き
委細と問へ。下女ハ盗賊意入て。あつくと。腹いぢ。話さぶ。女主人ハ氣の毒。思ひ居。内
程もあつ。カ。盗賊ハあつ。聞よりす。下女ハ。井戸へ身を投死。あつ。聞
け。益賊と。合組と。好討と。さ。二ハき時節でありま。 正情堂九化記
身を投。井戸より。物泥。下女の欲。お。海。中。あ。ま。

あ己文板

